

広報

ただみ

5

2011 月号

No. 492

平成23年5月10日



今月の表紙

待望の町下野球場が完成し、記念式典が晴天の5月7日に同野球場で行われ、町内のスポーツ少年団と、只見中、只見高校、そして学法石川高校の各野球部が参加した。式典のあと只見高校と学法石川高校の記念試合も行われ、高校球児が新しい土の感触を確かめた。

七十苜遺跡埋蔵文化財調査・・・2～5

平成23年度新入学児童生徒紹介・・・・・・・・・・6～7

朝日診療所が新体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

ブナセンター館長紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

町の話題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～11

古墳時代の土師器が出土 七十苧遺跡埋蔵文化財調査



▲七十苧遺跡出土 縷痕土器

七十苧遺跡は、伊南川右岸の河岸段丘上に所在します。試掘調査前は、明和保育所、御蔵入三十三観音三番礼所新福寺の付近が遺跡地とされ、昭和40年代に木本元治氏（現：国見町教育委員会）によって縷痕土器が発見されています。この土器が発見されたことにより、只見町にも弥生時代前期に稲作が伝わっていた可能性が示される遺跡となっています。現在この遺物は会津若松市の県立博物館に展示されています。

七十苧遺跡とは……

町教育委員会では、河川改修工事計画のある小林地区で平成20年度から平成21年度にかけ遺跡の範囲を確認するための試掘調査を実施しました。この調査で遺構と遺物が確認されたことにより、平成23年度まで継続して全4、151mの発掘調査が行われることになりました。今回は、平成22年度の発掘調査の成果を報告します。

平成22年度の調査概要

平成20年度から21年度の試掘調査では、伊南川寄りの南側試掘調査を実施したところ、遺構及び遺物が確認され、発掘調査が必要な範囲が約4151mと確認、平成22年度は2151mの調査を実施しました。

今回の調査で発見された遺構は、掘立柱建物跡1棟、柱列5列、土坑24基、性格不明遺構4基、河川跡3条、ピット（柱跡）147基を確認しています。当初は、縄文時代から弥生時代の遺跡を想定していましたが、中世以降の遺構も確認されました。出土した遺物は、土器片314点（縄文土器、弥生土器、土師器等）、石器類266点（打製石斧、独鈷石、剥片等）、陶磁器、炭化物等149点が出土しました。



①4号土坑出土 縷文後期



②2号河川跡出土 縷文後期



③2号河川跡出土 縷文晩期



④2号河川跡出土 弥生前期



⑤2号河川跡出土 弥生前期



⑥2号河川跡出土 打製石斧



⑦2号河川跡出土 独鈷石

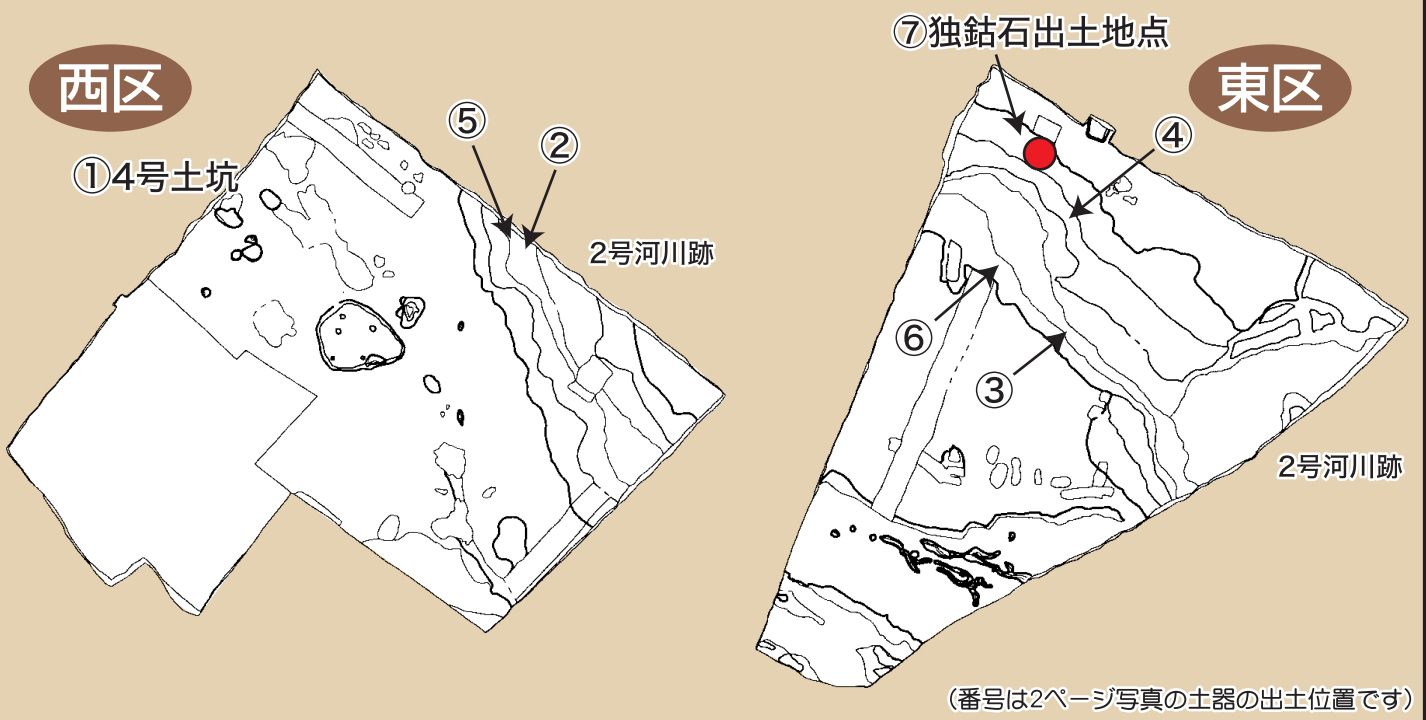


⑧3号河川跡出土 弥生土器

七十苜遺跡調査区全景



縄文～弥生時代の図面



縄文時代から 弥生時代の遺構・遺物

今回の調査で七十苜遺跡の中心が、縄文時代中期頃（5千年～4千年前）から弥生時代中期頃（約2千2百年～2千年前）と考えています。4号土坑から出土した土器については、羽状の縄目を施した鉢で縄文時代後期の遺物であると考えられます（①）。また、2号河川跡からの出土遺物がほとんどで、縄文時代後期から弥生時代中期の年代幅で遺物が確認されています。土器では、加曾利B式と呼ばれる土器（縄文後期末：千葉県加曾利貝塚）、大洞A式（縄文晩期：岩手県大洞貝塚）や南御山II式（弥生中期：会津若松市南御山遺跡）などと同型式の遺物が出土しています。また、石器類については、多数の打製石斧、独鈷石が出土しています（②～⑦）。独鈷石とは、仏具の独鈷杵に似ていることから現代に付けられた名称で、使用用途不明の遺物です。

3号河川跡は、旧伊南川の河川跡と推定され、弥生土器とともに陶磁器が出土しているため、近世に埋め戻し、畑地を拡張したと考えられます。3号河川から出土した遺物の中に福島県でも類例がない弥生土器の蓋が出土しています（⑧）（5ページの図面に出土位置記載）

古墳時代の土師器(はじき)の発見

只見町には、古墳が全くありません。古墳とは、墳丘を利用した、権力者、有力者の墓のことです。1千6百年前から1千3百年前頃に古墳の造営がされていました。また、只見町には古墳時代の遺跡が全くないため、遺物も確認されていませんでした。今回の調査で、古墳時代の土師器の甕(かめ)2点と坏(つき)3点が発見されました。こ

の土師器の年代は5世紀頃と考えられます。残念なことに遺構に伴ったものではありませんでした。しかし、只見町に古墳時代に人が住んでいた可能性を示す遺物であることは間違いないと考えています。もしも、古墳時代の遺構やそれに伴う遺物が確認されれば大変貴重なものとなります。

中世以降の遺構

掘立柱建物跡1棟と柱列5列を発見しています。

1号掘立柱建物跡は、南北2間×東西5間の建物跡で北側に庇が付属する建物跡と考えられます。建物跡の柱間は、2・4mから2・6m、建物から庇までの柱間は、1・4mから1・6mでした。また、柱の穴の堆積土と柱の検出面から多量の炭化物を確認したことから、火災により消失したものと考えられます。出土遺物がないため詳細な時代は不明ですが、建物跡の南側に3号河川跡があり、これが伊南川の旧河川跡と推測され、あまりに河川に近いところにある建物なので中・近世の河川に關係する施設の可能性が高いと考えています。

建物跡の南側に3列(2号柱列、3号柱列、5号柱列)あります。写真と図面(5ページに掲載)ではまだ掘削していませんが、西側に約50基の柱が連続してあるのを確認しました。これについては、建物跡との方向が若干違うため建物跡とは時代が違います。鉄釘等が出土しており、明治以降の柱列と考えられます。また、柱の間隔が極めて狭いことから農作物に關係する柱列と考えられています。



土師器 甕



土師器 甕



土師器 坏

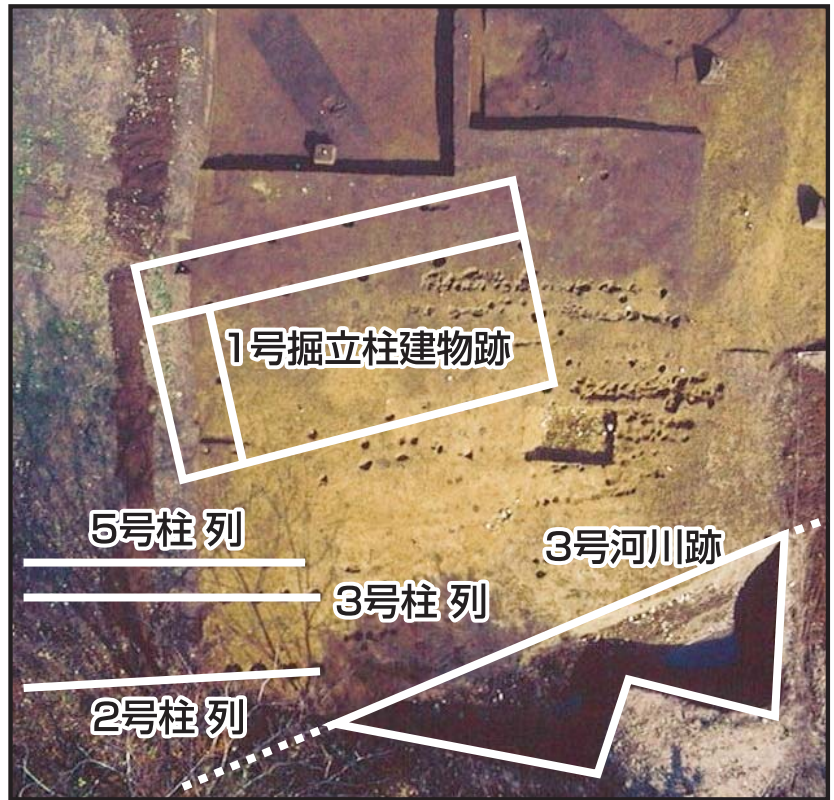


土師器 坏

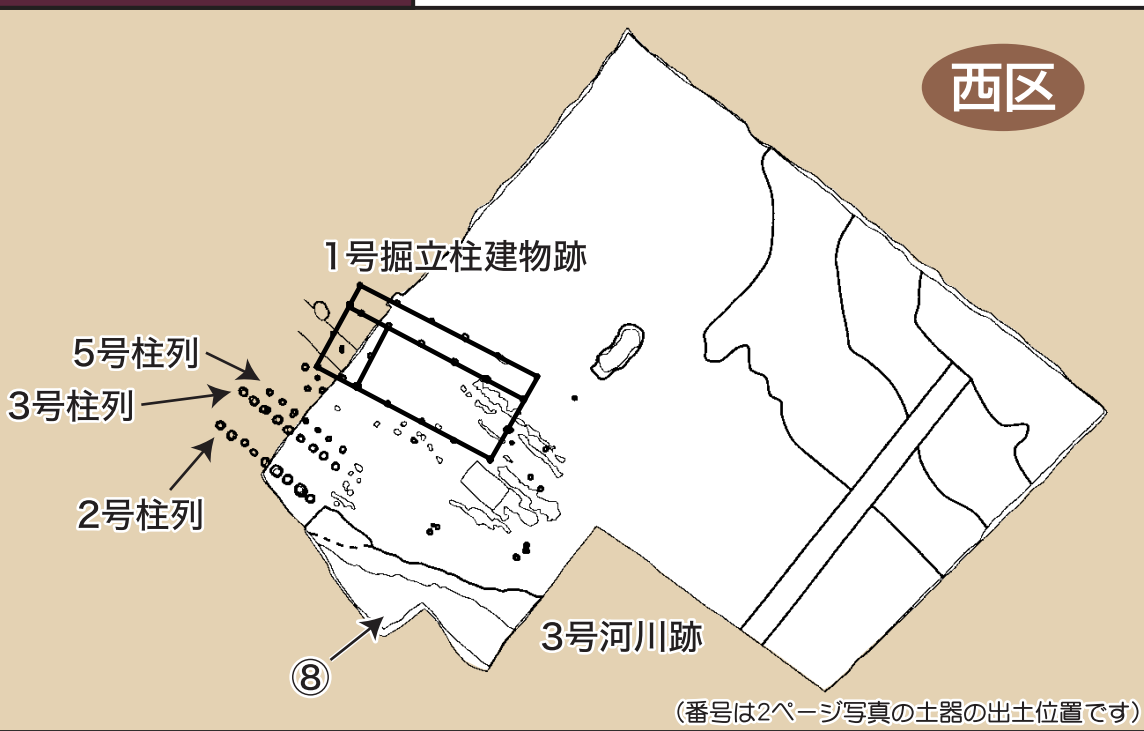


土師器 坏

七十苜遺跡 建物跡全景



中世以降の図面



まとめ

七十苜遺跡では、前述したような発見がありました。現在までの調査では、住居などは発見されていないため、集落跡では

ないと考えています。しかし、近くに集落跡がある可能性はあります。七十苜遺跡の土器片、石器類は、窪田遺跡で発見された、遺構、遺物と重なる年代であり、打製石斧の形状・石質も同じであるため、窪田遺跡と七十苜遺跡ではなんらかの関係があった可能性が高いと考えています。2号河川跡から多数の打製石斧が出土することは、近くに石器の工房跡があることを匂わせます。また、七十苜遺跡では粘土土器が発見されているため、土壌の分析などにより、弥生時代に稲作が本当に行われていたかどうかの調査も実施しなければならぬと思います。

平成23年度の調査

平成23年度の調査は、平成22年度に調査した部分のさらに西側についての調査を実施する予定で面積が約2000㎡になります。平成20年度から21年度の試掘調査の際に、竪穴住居の跡を1棟確認しているため、只見町の歴史を知る上で貴重発見があるかもしれません。現場の見学は随時行えますので、ぜひ見学に来てください。

(調査報告者：渡部賢史学芸員)

ございます

祝



只見高等学校で入学式が行われ、新1年生の
入学児童生徒をご紹介します。(敬称略)

春の訪れを感じさせる陽光がふりそそぐなか、期待と不安を胸に緊張した面持ちで、新1年生が入学式を迎えました。只見・朝日・明和の小学校では、元気な笑顔がかわいらしい28名の児童が、只見中学校では新しい制服姿が輝かしい38名の生徒が、只見高等学校では、自己の目指す目標に向け第一歩を踏み出した45名の生徒が、それぞれ入学しました。式では、厳肅なか校長先生が式辞を述べ、小・中学校では上級生が歓迎の言葉を送り、明和小学校では2年生の布沢翔月さんが、「朝一番に自分から進んであいさつをする」と気持ちよく一日を頑張れます。みんなで楽しく学校生活を送りましょう」とやさしく話しました。

また、中学校、高等学校では新入生代表誓いの言葉があり、「目標をしっかり持ち、勉強に部活動に全力で頑張りたい。これからは私たちが担い手、未来を築いていくため最大限の努力をします」と校長先生の前で目を輝かせ抱負を述べました。

新入学児童生徒の皆さんには、たくさん友達をつくって、楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います。目標の実現に向け頑張ってください。

只見小学校・5名

担任 酒井 渡邊 可奈子 先生
新井 悠来
目黒 巧馬
佐藤 央馬
鈴木 来菜



朝日小学校・10名

担任 吉津 渡部 弥 先生
吉津 部 晴香
渡部 家 真心
吉津 部 真央
星井 大 輔
馬場 大 希
目黒 皓大



明和小学校・13名

担任 大橋 外島 明子 先生
大橋 川 綾乃
山内 友 斗
角田 紗 菜
若林 波 悠
川原 野 音
菅野 野 汰
宇野 野 心
浅野 野 慧
山内 野 大
三瓶 大 心
平野 結 楓
菊地 琉 巧



ご入学おめでとう



4月6日、只見・朝日・明和小学校と只見中学校で、8日には新たな学校生活がスタートしました。平成23年度の各学校の新入

只見中学校・38名

三三齋小吉菅河上担任
瓶瓶藤林津家田野 藤 齋
晃海咲由悠成美浩 聡
一斗希奈真美咲太 先生

【2組】 山渡目目目星馬長高栗菊菊菅菅菅加大大伊石担任
内部黒黒黒 場川木城地地家家家藤竹藤橋 池上 禎一
尚め百 誠一麻夏竹涼萌品雄と琉正ま 沙
人い華翼也穂綾美徳花花大矢み生靖い舜佳 先生



渡渡山梁増馬馬馬馬新関
部部中取田場場場場国本
溜優綾 友真那 拓
唯花乃陸寛香樹也楓真翠

五五飯浅担任
十十嵐塚井 中山
諒慧涼児 康風人 先生

【2組】 山藤関島三酒菅春小渡横横矢星星馬馬長橋鈴小五飯担任
内田谷谷瓶井家日椋部山田沢 場場部 木林嵐塚 吉田 大祐
菜百有裕絵 みあ菜文 寛貴祥信和英和佑康浩拓
緒生里希理渚みさ悠哉蓮開翔樹太治真樹弘汰太佑真 先生

只見高等学校・45名



渡渡横柳目船鈴菅大渡渡目星馬中鈴鈴菅
部部田林黒木木家竹部部黒 場野木木家
美夏 真美美ひ知さ 貴裕大 雄宏将
咲芽萌耶希沙り佳ち拓之郎地瞭翔太汰志

朝日診療所が新体制と なりました



診療所内、1階と2階に「ご意見箱」を設置していますので、ご意見、ご要望等、住民の皆さんの声をお聞かせください。

今年度も月2回（第1・第3木曜日）の整形外科外来は継続して行います。訪問診療も、在宅介護をされるご家族に不安がないように地域包括支援センターや居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションと連携して実施していきます。

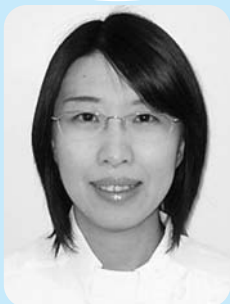
歯科診療は、従前のおりの予約診療を行います。火曜日のみ午後7時まで時間外診療を行います。

医科・歯科とも予約診療を基本としますが、予約外として急患対応をいたしますので電話連絡をお願いします。（医科 84-2221・歯科 84-2612）

また、住民の皆様のご協力をいただきながら、学生・研修医教育にも力を入れていきますので、よろしくお願いたします。

4月より常勤医師4名が確保されました

歯科医師 紹介



齋藤 さゆり

- 出身大学…日本大学
- 前任地…むらあか
- 専 門…一般歯科

デントアルクリニック

医師紹介



湯田 孝之（ゆだ たかゆき）

- 出身大学…自治医科大学
- 前任地…地域医療支援センター
- 専 門…耳鼻咽喉科



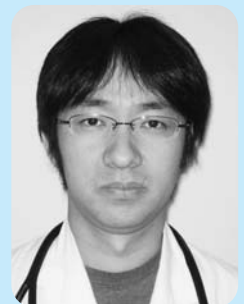
若山 隆（わかやま たかし）

- 出身大学…金沢大学
- 前任地…竹田総合病院
- 専 門…家庭医



菅家 智史（かんげ さとし）

- 出身大学…福島県立医科大学
- 前任地…保原中央クリニック
- 専 門…家庭医



星野 弘尊（ほしの ひろたか）

- 出身大学…自治医科大学
- 前任地…自治医大さいたま医療センター
- 専 門…循環器科

ブナセンター館長に

鈴木和次郎氏が就任

地域の財産を掘り起こす作業(蒲生地区のブナのアがり)調査



只見町ブナセンター館長に鈴木和次郎氏が採用されました。委嘱状交付式は4月21日に役場本庁の町長室で行われ、目黒町長から鈴木氏に委嘱状が手渡されました。その後、着任式が議場で行われ、目黒町長は「昨年からの指導いただきであり、これからは館長としてご活躍いただき。この只見から世界が抱えている環境問題や取り組みについて情報発信していきたい。自然環境調査や資料収集など、様々な活動の展開をお願いしたい」とあいさつを述べました。続いて、鈴木氏が就任のあいさつをされ終了しました。前任者の河野昭一氏には、ただみブナと川のミュージアム名誉館長として引き続きご指導いただきます。

新たに館長となられた鈴木氏に、これからのブナセンターの運営方針や活動計画などについてのお考えを伺いましたので、ご紹介いたします。



鈴木 和次郎 すずき・わじろう

前職は独立行政法人森林総合研究所(茨城県つくば市)主任研究員。農学博士。専門は森林生態学、造林学。溪畔林研究会、森林施業研究会の代表を務めた。その成果は、持続可能な森林管理や水辺林の保全、希少樹種の生態と保全技術の開発、自然林の再生技術などの普及に貢献した。『水辺林管理の手引き』『溪流生態砂防学』『環境修復のための生態学』などの共著や論文多数。

震災二負ケズ、 原発二モ負ケズ

8年前、伊南川流域でユビソヤナギの自生地を発見した時、只見町のブナセンターで働くことになるとは夢にも考えていませんでした。それ以降、前の職場(独立行政法人・森林総合研究所)で進めていた環境省の希少樹種研究プロジェクト調査に関わり、その分布と生態を把握するため只見町をたびたび訪れるようになりました。その度に驚かされたのは、只見町の自然の豊かさと奥の深さでした。中でも感動したのは、雪によって削り取られた山肌に張りついている多様なモザイク状の植生とその圧倒的な広がりです。こうした自然環境が只見町の皆さんの闘いと努力によって守られてきたという歴史を知り、感銘を受けました。

言うまでもなく、只見町ブナセンターは、只見

町の豊かな自然環境を守りながら、情報発信・交流の拠点として活動し、地域社会の発展に寄与することを目的に設置されています。こうした活動に欠かせないのが、只見町の自然環境の実態を知るための基礎調査です。これは「ブナと川のミュージアム」の調査活動として、大学や研究機関と連携して進めていきたいと考えています。その他にも、ブナをテーマとした特別展示や講演会、自然観察会なども企画していますので、ぜひ見に来てください。また、自然や環境に関する質問や問題がございましたら、気軽にご相談ください。可能な限りの情報提供に努めたいと思います。

3月11日に発生した東日本大震災は、東北の太平洋沿岸に有史以来、最大の被害をもたらしました。その後の原発問題は、地域社会の心を深く傷つけ、さらには福島県、そして日本にも暗い影を落としています。しかし、只見町の豊かな自然は、人々の心を癒し、普遍的な価値の有り様を教えてくれるに違いありません。只見町ブナセンターは、そのインターフェース的な役割を担って行くものと思います。私の前任で、現在、ただみブナと川のミュージアム名誉館長である河野昭一先生は、私の恩師です。その後任としては、いささか荷が重いのですが、精一杯努力し、町民の皆さまの期待に応えていきたいと思っております。町民の皆さまのご支援とご協力をお願いします。



▲「息吹南山義民喜四郎伝」



チーム息吹&春待ち演芸会 ジョイントチャリティー公演

東日本大震災で被災された方々を支援するためのチャリティー公演が4月16日に季の郷湯ら里で開かれ、220名が来場されました。はじめに春待ち演芸会で歌や舞踊などが披露され、次に南会津町の小中学生と高校生で構成されたチーム息吹による「息吹南山義民喜四郎伝」が公演されました。迫力と感動の演技に来場者から大きな拍手が送られました。この日寄せられた義援金は241,720円で福島民報新聞社と福島民友新聞社を通じ被災者への支援に充てられます。



▲春待ち演芸会・NPO法人只見ぶなの木倶楽部が主催

ブナセンター特別展示 絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて

現在、ブナセンターでは「絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて」と題し特別展示を6月19日まで行なっています。展示室にはユビソヤナギの現物があるほか、パネルや写真により国内最大の自生地について、その全貌を紹介しています。また、森林官の平田美紗子さんの描いた「森のイラスト・プレ原画展」も楽しむことができます。ぜひご来館ください。



▲特別展示
「絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて」



▲「森のイラスト・プレ原画展」

新 明和保育所入所式 しい入所児をみんなでお祝い

町内の各保育所で4月5日に入所式が行われました。明和保育所では9名のお友だちが新たに入所、全保育所児41名の入所式となりました。式では新しい入所児をみんなでお祝いするとともに、一つ大きな組になったことを喜び合いました。また、式の後には全職員による寸劇が行われ、楽しく過ごしました。今年度の入所児童数は只見保育所では44名、朝日保育所では47名となっています。



▲ 入所児と保護者の皆さん（明和保育所）

国 ちょボラごみ拾い 道や県道をきれいに

朝日地区センター運営委員会などが主催し、4月24日に行われた、ちょボラごみ拾いには約100名が参加、亀岡地区から櫛戸地区までの国道や県道沿いのごみを拾う清掃作業を行いました。参加者は空き缶や空き箱、ペットボトルなどのごみを分別しながら拾いました。集められたごみの量は燃えるごみが34袋、燃えないごみが12袋でした。また、震災で避難されている方も1名参加されました。



▲ ボイ捨てがなくなることを願いごみを拾う参加者

納 只見町納税貯蓄組合連合会総会 税意識の高揚を図る



▲ あいさつをする菅家一徳納税貯蓄組合連合会会長

只見町納税貯蓄組合連合会総会が4月15日に明和地区センターで開かれ、33名の組合長が出席しました。議事では平成22年度事業報告と歳入歳出決算について、また、平成23年度事業計画や予算についての説明が町担当職員からあり、すべての議案が承認されました。新年度も納税者の意識高揚を図ることや納期内納付の推進などが行われます。

火 春の防火パレード の用心をお願いします



▲ 保育所児に風船を手渡す消防団員

晴天の4月15日、春の防火パレードが行われ、消防団員16名と婦人消防隊2名などが参加、2班に分かれ消防ポンプ車などで町内全域をパレードし、火の用心を呼びかけました。途中、朝日保育所では、はっぴ姿のかわいらしい保育所児の前で広域消防只見出張所長があいさつをし、消防団員らが防火を呼びかける風船を一人一人に手渡しました。

只見地区センター機能の暫定的移転は……

町政懇談会

只見地区センター機能の暫定的な移転の内容について説明する町政懇談会が、5月2日に旧只見中学校で開かれ30名の町民の方が参加されました。

はじめに、目黒町長が「只見地区センターの利用を休止し、ご迷惑をおかけすることになり申し訳ありません。今回は休止とした経過や暫定移転の理由を説明し、今後の予定などをお知らせします」とあいさつし、続いて、渡部勇夫総務企画課長から暫定移転の理由などについての説明がありました。

その後、懇談が行われ、参加者からは、「一日も早く移転して会議室などが使えるようにしてほしい」や「暫定移転なので、この状態を続けるのではなく、早急に地域のシンボルとしての只見地区センターを整備してほしい」などの切実な要望や意見が出されました。

今回の説明内容についてお知らせします。

【経過と暫定移転の理由】
▽耐震診断の結果「大地震の場合、倒壊または崩壊する危険性が高い」Dランクという最も低い判定を受けた。（平成20年度）
▽平成17年新潟沖地震で両サイドの外壁上部損傷。
▽さらに今回の東日本大震災（只見町震度3.8）で目視できる損傷発生。
▽現在、一般利用を休止中。
▽町民および不特定多数の方の安全確保という点から、只見地区センター機能を暫定的に旧只見中学校に移転。

【今後の予定】
▽4月28日開催の町議会で関係予算が可決。
▽今後、旧只見中学校の部分改修工事を施工。
▽竣工および検査後、暫定供用を開始。
▽会議室を2階に3部屋と、3階に調理室を確保。5月中旬に利用可能な状態とする予定。

町民の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 菅 家 智 史

『災害から学ぶ』

身体と薬の付き合い方』

只見町の皆さん、はじめまして。4月から朝日診療所および老人保健施設こぶし苑に赴任しました、菅家智史（かんげさとし）です。どうぞよろしくお願いたします。

まず、3月11日の東日本大震災で被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。地震当日、私は福島県伊達市で勤務していました。勤務先は地震による被害で建物にひびが入り、立ち入るのものはばかられる状況。浜通りほどの被害はありませんでしたが、6日間の断水、2週間以上のガソリン不足など生活上の困難に直面しました。そんな中でも、私たち診療所職員は震災翌日の12日から診療所を開け、受診・相談に来る方々の対応を

続けました。

最初は、いつものかかりつけの患者さんたちがお薬をもらいに来っていたのですが、その後数日して、浜通りから避難してきた方々がたくさん受診するようになりました。原子力発電所周辺から、伊達市の体育館・公民館へ避難してくるようになったのです。しかし、受診された方々の話を聴くと、さほど具合は悪くありませんでした。

では、なぜ・・・？
相談ごとは「いつもの薬がなくなる」だったのです。しかし、何の病気で、何の薬を飲んでいたのでか、かかりつけでない医師には分かりません。患者さんにとっても、飲んで

るのは難しいでしょう。こんな時、とても役だったのは「お薬手帳」でした。お薬手帳には、どんな薬が、どれだけ、いつ、どの医師から処方された、ということが書いてあります。お薬手帳を持って来ていたことで、いつもと同じ薬を処方してもらえた避難者の方々がたくさんいらっしゃいました。

災害はいつふりかかってくるか分かりません。もし、災害で朝日診療所が機能停止になったら、いつものかかりつけの病院まで行けなくなったら、どこか遠くの地に避難しなければならなくなったら。自分が「何の病気でどんな薬を飲んでるか」を知っておくこと、そのために「お薬手帳」を日頃から利用していることが、結果的に身体を守ることにつながります。ぜひ、自分の身体、薬に関心を持ち、分からないことは診療所や薬局でお尋ねくだされば、身体や薬との上手な付き合いをお手伝いします。

町史

とっておきの話

202

長岡・河井継之助記念館友の会会員
高梁方谷会会員

小名 泰裕

山水相應蒼龍窟

「司馬遼太郎は、昭和四十九年（1974年）ここを訪れ、風光明媚な塩沢が継之助の眠る地にもっともふさわしいところとして『山水相應蒼龍窟』という揮毫を残している」と解説しています。

河井継之助は、長岡藩の藩政改革を行い、「ゆくゆくは蒸気船を買って藩士の次男三男に貿易をさせる」という考えを持っていました。長岡藩そのものを一個の法人のようにさせたかったようです。そのあたりの先見性は亀山社中を作った坂本龍馬とよく似ています。

司馬遼太郎が河井継之助が眠る地にふさわしいと称えた塩沢



しかし、龍馬との違いは、龍馬は「藩などどうでもいいではないか」と言って藩外に株式会社を作ります。一方、継之助は「藩こそ大事」と藩を株式会社にしようとしました。その夢は破れ、河井継之助は塩沢で亡くなります。そのような河井継之助を『峠』の執筆者・司馬遼太郎はどのように思っていたのでしょうか。

只見の河井継之助記念館には、司馬遼太郎の揮毫が二つあります。そのひとつが、『山水相應蒼龍窟』です。記念館のパンフレットを読むと

「『峠』を書くにあたって、河井継之助の少年、青年時代からではなく、なぜ、幕末時には中年といわれる三十代から書き始めたのか」です。昨年、大河ドラマ『龍馬伝』が放映され、司馬遼太郎の『龍馬がゆく』も話題になりました。『龍馬がゆく』については、司馬遼太郎記念館、上村洋行館長の講話に、

「司馬さんは『人を動かし、藩を動かし、国を動かししたひとりの人間の魅力』について書いた」と話しておられました。その龍馬は、自分の誕生日、十一月十五日に暗殺されています。数え歳で、三十三歳で

「なぜ、司馬さんは、河井継之助を主人公にした小説『峠』を書いたのか」もうひとつは、

「『峠』を焼く人間になつてほんとうによかったと思えたのは『国盗り物語』や『龍馬がゆく』、『峠』を書いたときです。人間は、いつかは死にますが、その時の『遺書』のつもりで書きました。日本人とはいったい何者か、というのが一般的なテーマなんですがね。自分が日本人について考えたことを小説にしておきたいというはつきりした意図で書いたのが特に『龍馬がゆく』と『峠』です」と書いてあります。

司馬さんが、河井継之助が焼かれたであろうダム湖の水面を四半時ほどながめ、『山水相應蒼龍窟』という揮毫を残した理由が分かるような気がします。



河井継之助と塩沢の印象を表現した司馬遼太郎の書



町民文芸

只見短歌会

三月詠草

大塚栄一

指導

被災地に送る毛布を雪晴れの束の間干して温みをもたす

目黒 富子

亡き友の面影偲び手向けたる香の煙にむせび咳込む

皆川 恒子

春彼岸にうから集へば亡き母も笑みつつ部屋に入り来る思ひす

古川 英子

唐突な大地震に介護士ら優しく声かけ労りくるる

五十嵐英子

凄まじき地震の災禍に放射能汚染広がり農家ら嘆く

渡部ゆき子

瓦礫のなか命繋ぎし祖母と孫の九日間の辛さを思ふ

馬場 八智

病にて逝きたる夫がリウマチの妻を身内に頼みしと言ふ

五十嵐夏美

原発の汚染連日伝へられ広がる風評被害恐ろし

渡部ヨリ子

避難するとわが町に來し幾人か雪の嵩見て帰りしと聞く

新国 洋子

(出 詠 順)

只見俳句会

四月例会

目黒十一

指導

震災のすべて受け入れ春の雨
木の芽時戻せぬ時に立ち向かふ

修 一

まだら雪銃後支えし隣組
春の日や思っても見ぬ賞を受け

リウコ

かた雪を渡る人影犬走しる
三猿の庚申塚や山笑う

邦 男

一步たり許されぬ地の蜃気楼
新天地の階段下りて水芭蕉

笑 羊

定年や身軽き今朝のしじみ汁
押切りの棒鱈さざむ力かな

吉 児

春満月川の兩岸雪残し
落花してなお赤々と菽椿

洋 子

(横山哲夫さん逝く)
春の雷昔ばなしのように過ぐ
残雪やいっちょよさけたと申さるる

恒 夫

薄氷や底に動かぬ緋鯉見え
服カバン借物なれど進学す

一 穂

雪解川ふるさと離れ子の元へ
濁流の一夜に増して柳の芽

隆 堂

待春や野菜畑を割り振りて
堅雪やけもの足跡入り混じり

敦 子

春の雪去年の日記出して見る
列島へパンダを追って胡沙来る

邦 夫

雪つぶて投げ上げて落つ雪の中
漬菜煮を一菜とせり雪ごもり

礼

春立ちて豊かな光の中におり
新刊の匂いをめぐり春炬燵

康 女

今月のお知らせ

平成23年度国家公務員
採用Ⅲ種(税務)試験

バイタリティーあふれる税務職員を募集します。税務職員は、国の財政を支える重要な仕事を担い、国税局や税務署で、調査・検査・指導などを行います。

●受験資格

平成22年4月2日～

平成6年4月1日生まれの方

●申込受付期間

平成23年6月21日(火)～

6月28日(火)まで

●申込書の請求

最寄りの税務署、仙台国税局
人事第二課、人事院東北事務局

●申込書の提出先

人事院東北事務局

〒980-10014

仙台市青葉区本町3-2-23

●試験日・試験種目

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
町民生活課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

東日本大震災
無料電話法律相談

福島県弁護士会で実施しています。

●相談時間

平日の午後2時～午後4時

●電話番号

024-1-534-1211

024-1-925-16511

024-2-127-12522

024-6-125-10455

農業振興事業補助金及び産業振興対策事業補助金の募集

■農業振興事業補助金

只見町の振興作物であるトマト、花卉、アスパラガスを新たに作付けされる方に補助金を交付いたします。

事業名	振興作物新規栽培者支援事業
事業主体	振興作物の新規栽培者
対象事業内容	新規栽培に係る初期経費 (定植苗、元肥、施設、資材等)
助成内容	補助率 70%以内 補助限度額 100万円
注意	※出荷に係る経費及び消耗品、汎用性の高い機械類は対象外 ※農薬・肥料については、新規栽培時に必要な元肥・農薬に限定。

■産業振興対策事業補助金

町では、産業振興基本構想(農業・観光・商工業の機能的結びつき)に基づき、産業振興を図るために事業を行う方へ補助金を交付いたします。

事業名	産業おこし支援対策事業
事業主体	個人、生産組合、任意団体、集落等
対象事業内容	農業振興事業、林業振興事業、水産業振興事業、商工観光振興事業 特産品加工(食品・物産)、地産地消関連、生産物直売所 体験交流型産業(簡易宿泊営業飲料水等滅菌装置購入を含む)
助成内容	補助率 70%以内 補助限度額 100万円
注意	※汎用性の高い機械類については、補助対象外 ※交付の決定については、第三者機関の審査会で審査し、決定します。 ※補助金の支払は、事業完了後の支払いとなります。

■募集期間

平成23年5月9日から5月31日まで

■申請・問い合わせ先

産業振興課 農林企画室

TEL 82-5230 FAX 82-5235

税 今月の納期

5月25日までに納めましょう
●軽自動車税(全期)
●農集排使用料(5月分)

軽自動車税の減免

身体等に障がいのある方が所有する軽自動車で、本人または生計を一にする方や常時介護者が運転するもののうち、通学・通院・生業等のために必要と認められるものについて、身体障がい者等一人につき一台の軽自動車（自動車を含む）に限り軽自動車税の減免が受けられます。

●申請の手続き

▽申請期限 5月17日（火）

▽申請先

役場町民生活課

朝日地区センター

明和地区センター

●持参書類

身体障がい者等の手帳・印鑑・運転免許証・納税通知書

※不明な点は、お問い合わせください。

▼問い合わせ

町民生活課税務班

☎0241-8215110

「お気軽に、
ご相談ください」
行政相談委員に
菅家三保子さん

総務省では、只見町を担当する行政相談委員として、4

月1日付けで、次の方を委嘱いたしました。

●行政相談委員

菅家 三保子さん

●只見字雨堤1054番地の2

●電話 82-2192



▲行政相談委員の菅家三保子さん

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事をはじめ、N・T・Tなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

国の役所の仕事について「事務処理が遅い」、「昼休みに窓口を閉めている」など行政サービスに対するご意見・ご要望等あれば、ぜひ、ご相談ください。

相談は無料で秘密は守られます。行政相談委員は、いつでも自宅で相談に応じていますので、お気軽に、ご相談ください。

町長室日誌

〈4月分〉

- 1日 役場辞令交付式、南会津地方広域市町村圏組合辞令交付式
- 4日 会津ただみ振興公社辞令交付式
- 5日 福島県議会県民連合会津方部県議団災害対策調査
- 6日 会津総合開発協議会国への緊急要望
- 8日 県立只見高等学校入学式
- 11日 朝日診療所医師辞令交付式及び着任式、県立南会津高等学校入学式
- 12日 三島町及び南会津町出張
- 15日 町納税貯蓄組合連合会総会、有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式
- 18日 定例庁議
- 21日 国道252号線六十里越視察
- 23日 南会津地方保育職員協議会定期総会
- 25日 奥会津五町村活性化協議会役員会
- 26日 町消防団春季全体幹部会
- 27日 南会津地方町村会総会、南会津地方土地開発公社理事会、会津高原ふるさと推進協議会総会、南会津地方林業協会総会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会
- 28日 只見町議会4月会議、町商工会通常総代会
- 29日 只見特産(株)株主総会

住宅用火災警報器 設置推進のご案内

▶全ての住宅の寝室等に住宅用火災警報器の設置が平成23年6月から義務づけられることとなり猶予期間が、わずかとなりました！（猶予期間は…平成23年5月31日まで）

近年の火災の死者は、その多くが住宅火災によるもので、このうち高齢者が半数以上を占めています。この対策として住宅用火災警報器が火災の早期発見に役立つ防災機器として設置されることになりました。

▶自宅から火災による死傷者を出さないために早急に「住宅用火災警報器」を設置しましょう！

設置の推進と向上を図るために、「住宅用火災警報器」消防出前講座を実施していますので、最寄りの消防署・出張所・分遣所へご相談ください。より詳細な実施内容の説明を行います。

▶設置場所は、子ども部屋や高齢者の居室と、寝室です！

寝室、階段への取り付けは義務づけられています。また、台所や居室への取り付けもおすすめします。

お問い合わせ

南会津地方広域市町村圏組合消防署
只見出張所

電話：0241-84-2700

町民の消息

(4月1日～4月30日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

鈴木 真斗 (まなと)
(男/丈治・美恵) 只見
渡部 永遠 (とわ)
(男/公栄・絹枝) 只見

■ご結婚おめでとうございます

只見 藤田久幸 ♥ 会津美里町 小松めぐみ

■おくやみ申し上げます

矢 沢	セキノ	87	塩沢
皆 川	コイク	100	長浜
目 黒	繁 雄	84	只見
渡 部	スミ子	78	小川
佐 藤	正 作	101	蒲生
鈴 木	章 雄	97	只見
佐 藤	蓉 子	78	大倉
横 山	哲 夫	86	桧戸
伊 藤	成 子	74	寄岩
齋 藤	源太郎	66	黒谷
山 内	セツコ	93	梁取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごま

平成23年4月1日現在

人 口	4, 869	(-39)
男	2, 311	(-21)
女	2, 558	(-18)
世帯数	1, 857	(-6)
高齢化率	41.4%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 12 転出 44 出生 1 死亡 8

▽3月11日に発生した東日本大震災から2カ月が経ち、テレビニュースの映像にも子どもたちの笑顔が目立つようになりました。被災者の頑張る姿、ボランティアの支援活動、元気を取り戻すイベントの開催など、一日も早い復興を願う毎日を全力で過ごされている方々に、自分は何ができるのか、新聞に目を通すたびに考える毎日です。▽今年は大雪の影響で国道252号六十里越雪わり街道の再開が5月14日の予定です。当日は記念イベントが歳時記会館で行われますのでお楽しみに・・・。

あしがき

町民憲章

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★「おいしいともだち」シリーズ(5冊)



とよたかずひこ / 作
(童心社)

「なつとう」「おにぎり」「たまご」「すいか」「とうふ」。幼児に身近な食べ物を主役にした5冊シリーズの絵本です。ユーモラス且つリズムカルに、楽しい物語が繰り広げられます。おにぎりくんが自分をにぎにぎする姿や、なつとうさんがおしくらまんじゅうする様子に、大人も思わず「にやり」。「さあ みんなでなかよくねばねばねばねばぎゅうぎゅうぎゅう」。読んで聞かせて親子で笑って！

★裏閻魔



中村ふみ / 著 (樫出版社)

元長州藩士であり、鬼込めという呪いの刺青により不老不死の運命を背負う刺青師(宝生 閻魔)。「鬼込め」の業を持つもう一人の刺青師であり、心臓を喰らう殺人鬼(夜叉)から友人の娘を守り、幕末から昭和の激動を生きる。時代を越える壮大なスケールと圧倒的な世界観の中で描かれる、不死者ゆえの出会いと別れ、愛と悲しみ。エンタテインメント歴史ファンタジー小説。

★その他、直木賞受賞作品『漂砂のうたう』や、東野圭吾、桐野夏生、井上荒野、浅田次郎などの著作、ACのCMでおなじみの金子みすず、宮澤章二の詩集、児童向けでは大人気「バムとケロ」シリーズと「チャレンジミック！」シリーズの最新作などを購入。おすすめの図書などあれば、参考にさせていただきますので、ぜひ情報提供をお願いします。

コシノコバイモ

越之小貝母 <ユリ科>

4月から5月、町内の林縁で花を咲かせます。本州中部の多雪地帯にのみ分布する雪国の植物です。花は白色に暗い紫色のあみ目模様があり、花びらの縁にギザギザの突起があります。

スプリング・エフェラメル(春のかけろ)と呼ばれる春植物の一つです。1年のほとんどを地下茎として過ごし、日当たりのよい春の短い期間だけ、地上に姿を現して花を咲かせます。



写真/高原豊さん

特別展示

○絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて

—国内最大の自生地の全貌を紹介—

期間:開催中・・・6月19日(日)まで

○同時開催のミニ企画

「森のイラスト プレ原画展」平田美紗子さん(静岡森林管理署)

問い合わせ

○只見町ブナセンター TEL0241-72-8355

○只見町産業振興課交流推進班 TEL0241-82-5240

※この広報紙は再生紙を使用しています

イベントカレンダー

5月

●1日(日)

「青少年旅行村・いこいの森キャンプ場
オープン」

「只見そば道場オープン」

●3～5日(祝)

「風つこ会津只見号運行(予定)」

●14・15日(土・日)

「国道252号六十里越雪わり街道
開通記念イベント:歳時記念館」

●15日(日)

「要害山トレッキング」

●21・22日(土・日)

「SL会津只見10周年号運行(予定)
会津若松―只見」

6月

●5日(日)

「山の幸・山菜まつり」

●12日(日)

「蒲生岳山開き」

●26日(日)

「会津朝日岳山開き」

●浅草岳山開き

▼要害山トレッキングが大雪の影響で5月15日(日)に変更になりました。今年には記念バッジをご用意して、皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間午前8時半～午後6時

(年中無休)

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています